



## 「3.11 からの出発」活動のご報告

「3.11 からの出発」活動については、今まで別刷りのニュースレターで報告してきましたが、今後は本誌にて紹介します。活動の一環として、2011年11月に開館した、岩手県の陸前高田こども図書館「ちいさいおうち」(NPO 法人うれし野こども図書室分館)の運営に協力しています。今回は専属司書の中井佳織さんに、子どもたちの様子を書いていただきました。



「ちいさいおうち」

「ちいさいおうち」は今年3月で、開館から3年4ヵ月を迎え、延べ利用者は1万3千人を超えました。初めて訪れる子どももすぐに馴染んでいき、開館時から通う子どもたちは、一層のびのびとすごしています。以前にも増して、一組一組の滞在時間が長くなっていると感じています。昨年度は、子育て支援団体からも依頼があり、わらべ唄の紹介や絵本の読み聞かせの訪問を数回行いました。このことがきっかけで、0～3歳くらいのお子さんを連れてご家族での利用が増え、職員と一緒に絵本を読んだり季節のわらべ唄で遊んだりして、ゆっくりとすごしていけます。

図書のテーマ展示は9回行い、展示期間中に関連行事を開くこともありました。干支をテーマにした展示「ひつじとひつじのなかま」の時は、東京子ども図書館の“おばあさんのいす”で教わった、羊毛や松ぼっくりを使用したヒツジを作りました。ブックトークも併せて行い、地元の方から、糸紡ぎの道具や羊に関する資料をお借りして、内容を深めることができました。

また催しは、「わらべ唄あそびの会」、「夏の夜のおはなし会」、「ぬいぐるみおとまり会」、保護者等を対象とした絵本講座、大船渡市立図書館と共催した図書展とワークショップ「絵本で知る世界の国々 in けせん」など、11件行いました。開館3周年の記念行事として行った「音楽のあるおはなし会」は65名の親子が参加し、お話会や、子どもたちによるハンドベルの「花は咲く」、地元の音楽家によるマリンバとカホン(打楽器)の「熊蜂の飛行」などの演奏を楽しみました。

子どもたちが、お気に入りの本に出会う場面に立ち会えるのは、なにより嬉しいことです。絵本『ナガナガくん』を読み終えたYくん(5歳)は、ふいに、椅子の下に体をねじ込み、頭をかくして寝そべりました。どうやら、身体が長すぎて犬小屋に入りきれない、主人公のダックスフンドの真似をしたようです。お母さんによると、その後もしばらくの間、お家でも“ナガナガくんごっこ”をしていたとのこと。Kくん

(小1)は、借りていく本の候補を何度も入れ替えながら、よく吟味して本を選び抜き、「今日はいいものえらんだなあ」とご満悦でつぶやきました。「この本に、すぐ使える術、のってますか?」と『なるほど忍者大図鑑』を棚から抱えてきたのはRくん(小3)。少し眺めた後、自分でもできそう!と思ったのでしょうか、ニヤリと笑みを浮かべて借りていきました。

陸前高田では、中心市街地のかさ上げが本格化しており、利用者のご家庭の中にも、新居を再建した方、災害公営住宅へ移り住んだ方が数組いらっしゃいました。今年度はさらにこうした動きが活発になると思われます。しかし、未だに学校の校庭には仮設住宅があり、災害公営住宅の進捗率は約20%、防災集団移転事業の造成進捗率は約40%(2015年3月現在)と、歩みは決して早いとはいえません。

私たちは、それぞれの子どもにとって、ここが自分の居場所の一つだと思ってもらえたらいいと考えています。先日、常連のSくん(小3)が「ちいさいおうちは人がやさしいし、面白い本がいっぱいある。“本の楽園”みたいな場所」だと話していたそうです。これからも子どもたちに寄り添い、その成長にあわせた読書案内を通じて、皆が健やかに育っていくことを願いながら楽園づくりに精を出したいと思います。

「ちいさいおうち」司書 中井佳織

### ●2014年度 活動状況 ( )は昨年度

登録者数	412人(426)	
開館日(4/1～3/31)	火・水・金・土・日 249日(250)	
利用者数 (閲覧者含む)	総数	4,083人(4,274)
	1日当たり	16.4人(17.1)
貸出数	総数	6,553冊(7,031)
	1日当たり	26冊(28.1)
貸出者数	総数	1,765人 団体1(1,919)
	1日当たり	7.1人(7.7)
レファレンス総数	87件(81)	
蔵書数	4,629冊(4,202)	



音楽のあるおはなし会

### ●引き続き、活動資金へのご寄付をお願いいたします。

振込先: ゆうちょ銀行/郵便局 口座記号番号: 00130-9-115393 加入者名: 公益財団法人 東京子ども図書館  
ニュースレターのバックナンバー(2011年4月6日～)は、ホームページでご覧になれます。